平成 19 年度第 1 回 ExTEND2005 化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会　議事要旨（案）（一部抜粋）

Ⅰ　日時：平成 19 年 12 月 6 日（火）　17：00～19：00

Ⅱ　場所：中央合同庁舎５号館２２階 環境省第１会議室

Ⅲ　出席委員：有田芳子、井上達、岩本公宏、上路雅子、北野大、
小出重幸、遠山千春、渡邉信
事務局：上田環境保健部長、木村環境安全課長他

Ⅳ　議題：
（１）基盤的研究・野生生物の生物学的知見収集の推進について
（２）作用・影響評価について
（３）国際協力関係事業について
（４）リスクコミュニケーションの推進について
（５）その他

Ⅴ　議事要旨（議題４　リスクコミュニケーションの推進について　一部抜粋）
以下の内容について、資料に沿って事務局より説明・報告を行った。

○　化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて
○　身近な野生生物の観察事業について
○　平成 19 年度国際シンポジウムについて

【委員からの主な意見】
・ リスクコミュニケーションは双方向の対話が大切である。ホームページでも、一方通行ではなく、一般市民の方々からご意見をいただき、できるだけそれにきちんと答えていくというような双方向の対応が重要である。
・ ホームページは、子供が見ても分かるように、内容のレベルを落とさず、いかにわかりやすくするかという点に留意して作成いただきたい。また、常にアップデートしていただきたい。
・ ホームページは環境省の行動指針が反映されているのが分かる形にした方がよい。また、日本語タイトルをもう少し短めにした方がよい。
・ 野生生物の観察事業や国際シンポジウムなど、様々な事業を連携することで、相乗効果を高められることがあるため、連携により一層努めていただきたい。